

**前例を超える前例を創る
全盲の精神科医になって見えたこと、
広がった視野**

福場 将太

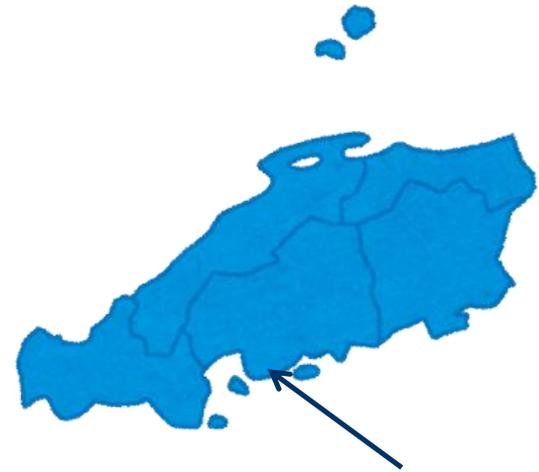
2023.11.22

■本日のセットリスト

- 第1章 自己紹介
- 第2章 当事者として、視覚障害との二人三脚
- 第3章 支援者として、精神障害と回復の意味
- 第4章 中途半端でも Medical Wars
- 第5章 まとめ

■ 自己紹介

- 名前：福場 将太
- 仕事：精神科医
- 持病：網膜色素変性症
- 趣味：音楽と文芸の創作
- 出身：広島県呉市
- 所属：医療法人 風のすずらん会
視覚障害をもつ医療従事者の会 ゆいまーる
公益社団法人 NEXT VISION



■ 網膜色素変性症との関係

- 第1期（1980年～大学4年）
意識しない他人の関係
- 第2期（大学5年～就職）
無視できない邪魔者
- 第3期（20代後半）
奪われるだけの恐怖の存在
- 第4期（30代前半）
勇気と知恵で戦う宿敵
- 第5期（2018年～現在）
二人三脚の相棒に

■当事者としての心得

1. 未来の扉を開く鍵は これまで自分が歩いてきた道の上に落ちている。
2. 病気が一歩前に出たら自分も一歩前へ。
3. 終わりの中には必ず始まりがある。

■ 日本の精神科医療に関する法律

1900年 精神病患者監護法

1919年 精神病院法

1950年 精神衛生法

1965年 精神衛生法 改正

1987年 精神保健法

1995年 精神保健福祉法

■心の病気(精神疾患)とする根拠

根拠① 少数派だから病気

根拠② 苦しいから病気

根拠③ 社会生活で困るから病気

根拠④ 周囲に迷惑がおよぶから病気

■ 3つの回復

- 臨床的回復

病気の症状が良くなること。

- 社会的回復

社会生活における能力や役割が高まること。

- 心理的回復

自分の人生に希望や満足を感じられるようになること。

■ 支援者としての心得

1. 臨床的回復はできなくても社会的・心理的回復はできる。
2. 自分を振り返る気持ちを忘れず、必ずチームで考える。
3. 感謝されるより感謝する支援を。

■ 中途半端のバリアバリュー

- 眼科にも福祉の視点を紹介
- 必ず謙虚にチーム医療
- 患者に助けてもらえる関係
- 声色でアセスメント
- 覚悟と情熱では負けない
- 患者に気付きを提供

■人間としての心得

心に『優しい想像力』を！

ご清聴ありがとうございました